

Ⅱ 看護学科

Ⅱ-1 看護学科の履修要件（先修条件）

1) 実習の先修条件

臨地実習に係る科目を履修するためには、あらかじめ単位を修得しておかなければならない科目があり、『先修条件』として次のとおり細則で定めています。

臨地実習を受講する際は、各実習のオリエンテーションで「実習要項」を配付しますので、熟読して臨んでください。臨地実習先（病院など）や時期は、科目によって異なります。

【2022 年度以降の入学生に適用】

先修条件のほか、専門基礎科目の必修科目については、その科目の開講年度に単位を修得していなければ、次年度開講科目の履修ができません。

科 目	先修条件 (単位を修得していなければならない科目)
看護基礎実習Ⅱ	2年次前期までに開講している専門基礎科目の必修科目すべての単位を修得していること。看護技術論Ⅱ・Ⅲの科目すべての単位を修得、若しくは修得見込みであること。
成人看護実習Ⅰ	3年次前期に開講している成人看護活動論Ⅲの単位を修得、若しくは修得見込みであること。
成人看護実習Ⅱ	
高齢者看護実習	3年次前期に開講している高齢者看護活動論Ⅱの単位を修得、若しくは修得見込みであること。
母性看護実習Ⅰ	3年次前期に開講している母性看護活動論Ⅱの単位を修得、若しくは修得見込みであること。
看護総合実習	成人看護実習、高齢者看護実習、小児看護実習、母性看護実習の科目すべての単位を修得、若しくは修得見込みであること。
公衆衛生看護実習Ⅰ	母性看護実習Ⅱ、小児看護実習、精神看護実習、在宅看護実習、看護総合実習及び4年次前期までに開講している公衆衛生看護学の科目（公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護支援論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護対象論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護展開論、公衆衛生看護管理論）「保健医療福祉行政論」「疫学」「健康政策論Ⅰ」「保健統計学Ⅱ」のすべての単位を修得、若しくは修得見込みであること。
公衆衛生看護実習Ⅱ	
公衆衛生看護実習Ⅲ	

2) 臨地実習における追実習と再実習について

(追実習)

臨地実習における追実習とは、「大学が認める特段の理由による欠席」等により、やむを得ず実習を欠席した場合、当該科目を修得するために行う実習をいいます。

- ・ 追実習を受けようとする学生は、「授業欠席届」と「欠席理由を明らかにする証明書類」を当該科目の実習終了後5日以内に学務課に提出してください。
- ・ 所定の手続きにより教務委員会で認められた場合、各科目1回限り実習することができます。
- ・ 追実習は履修登録した年度の当該科目の開講期間内に追実習期間を設定し実施します。
- ・ 追実習は当該科目の単位認定に必要な日数分すべて行います。
- ・ 単位認定のためには、原則3分の2以上の出席が必要です。
- ・ 評価は、通常の単位認定評価と同様とします。

(再実習)

臨地実習における再実習とは、不合格(60点未満)となった実習科目について当該科目を修得するために行う実習をいいます。

- ・ 看護学科の再実習は、履修登録した当該年度内に行うことはできません。
- ・ 当該実習科目は、次年度に再度履修登録を行い実習に臨まなければなりません。
- ・ 単位認定のためには、原則3分の2以上の出席が必要です。
- ・ 再実習の評価の上限は可(60点)とします。ただし、次年度に再度履修登録した科目の評価は通常の単位認定と同様とします。

3) 実習以外の科目の先修条件

また、下記の科目の履修については、次表の先修条件となっている科目の単位を修得または修得見込みでなければなりません。

科 目	先修条件 (単位を修得していなければならない科目)
成人看護活動論Ⅱ	成人看護活動論Ⅰ
高齢者看護活動論Ⅰ	高齢者看護学概論Ⅱ
小児看護活動論Ⅱ	小児看護活動論Ⅰ
母性看護活動論Ⅰ	母性看護学概論
精神看護活動論Ⅱ	精神看護活動論Ⅰ
公衆衛生看護支援論Ⅰ	公衆衛生看護学概論
公衆衛生看護対象論Ⅰ	
公衆衛生看護対象論Ⅱ	
公衆衛生看護展開論	
公衆衛生看護管理論	
公衆衛生看護支援論Ⅱ	公衆衛生看護支援論Ⅰ
	公衆衛生看護対象論Ⅰ
	公衆衛生看護対象論Ⅱ
	公衆衛生看護展開論
健康政策論Ⅱ	公衆衛生看護管理論
	健康政策論Ⅰ
	公衆衛生看護実習Ⅰ
	公衆衛生看護実習Ⅱ
実践総合演習	公衆衛生看護実習Ⅲ
	看護総合実習

Ⅱ-2 看護学科の卒業要件・進級要件

1) 卒業要件

4年以上在学し、卒業に必要な単位数を修得していることが必要です。

科目区分	基礎教育科目	専門基礎科目	専門科目	小計
必修単位	15 単位	24 単位	73 単位	112 単位
選択単位	9 単位以上	3 単位以上	4 単位以上	17 単位以上
選択必修 単位 ※	—	—	「クリティカル看護論」 「慢性看護論」 「リハビリテーション看護論Ⅱ」 から 1 単位	
小 計	24 単位以上	27 単位以上	78 単位以上	129 単位以上
合 計	129 単位以上			

※選択必修科目を2科目以上選択した場合は、2科目目から選択科目に振り替えることができる。

2) 進級要件

上級学年に進級するためには、次の要件を満たしていることが必要です。

● 2年次進級

在学期間	基礎教育科目	専門基礎科目	専門科目
1年以上	—	1年次に担当されている必修科目のすべてを修得	

● 3年次進級

在学期間	基礎教育科目	専門基礎科目	専門科目
2年以上	担当されている必修 科目のすべてを修得 選択科目 7 単位以上	2年次に担当されている必修科目のすべてを修得	

● 4年次進級

在学期間	基礎教育科目	専門基礎科目	専門科目
3年以上	—	3年次に担当されている必修科目のすべてを修得	

Ⅱ-3 看護学科の資格の取得

1) 看護師国家試験受験資格

本学保健医療学部看護学科を卒業した者は、看護師の国家試験受験資格を取得することができます。

(1) 国家試験申請手続きの流れ

時期 (予定)	内 容
11月	国家試験ガイダンスの実施
12月	大学から願書を一括提出
2月	受験票配付と免許申請ガイダンスの実施
2月	保健師・看護師国家試験
2月	卒業判定会議で卒業の認定
3月	国家試験合格発表

(2) 免許申請について

国家試験合格後の免許の申請は、各自で行ってください。

2) 保健師国家試験受験資格（選抜制）

本学保健医療学部看護学科が指定する科目を修得して卒業した者は、保健師の国家試験受験資格を取得することができます。定員は 20 名です。

保健師国家試験受験資格取得を希望する学生は、公衆衛生看護学履修生審査会の審査が必要なため、次の選抜基準を満たしたうえで、申請書類を提出してください。

(1) 選抜基準

- ① 保健師への興味・関心及び学習意欲が認められること。
- ② 2年次までの必修科目の全ての単位を修得していること。
- ③ 2年次までの専門科目（必修）の全科目成績評価において、GPAが原則として2.5以上であること。
- ④ 2年次の公衆衛生看護学概論の成績評価が「良」以上で単位を修得していること。

(2) 提出書類

- ① 履修申請書
- ② 志望理由書

(3) 審査方法

公衆衛生看護学履修生審査会（以下、『審査会』といいます。）において、提出書類及び専門科目の成績や学習活動状況等について、公正かつ客観的に総合的に審査し選抜します。

- 第一次審査：履修申請書及び志望理由書等の書類審査
- 第二次審査：面接審査を実施

(4) 提出方法及び提出期限（手続きの流れ）

選抜方法については、1年次の入学ガイダンスから説明を開始します。

年次	時期（予定）	内容
3年次	4月	一次審査：履修申請書、志望理由書提出
	5月	二次審査：申請者への面接実施（成績確認）
	5月	最終審査：審査会による総合審査
	6月	掲示にて審査結果を発表
	10月～	対象科目受講

(5) 保健師国家試験受験資格取得要件

卒業要件とあわせて次表の科目を修得していることが必要です。

科目区分	科目名	単位数	科目区分	科目名	単位数
専門基礎科目	疫学	2単位	専門科目	公衆衛生看護学概論	1単位
	保健医療福祉行政論	1単位		公衆衛生看護支援論Ⅰ	2単位
	健康政策論Ⅰ	1単位		公衆衛生看護支援論Ⅱ	2単位
	健康政策論Ⅱ	1単位		公衆衛生看護対象論Ⅰ	2単位
	保健統計学Ⅱ	1単位		公衆衛生看護対象論Ⅱ	1単位
				公衆衛生看護展開論	2単位
				公衆衛生看護管理論	2単位
				公衆衛生看護実習Ⅰ	2単位
				公衆衛生看護実習Ⅱ	2単位
				公衆衛生看護実習Ⅲ	1単位

3) 養護教諭二種免許

下記の科目の必要単位数を修得し、かつ保健師免許を取得したうえで、各都道府県教育委員会に申請することによって、養護教諭二種免許を取得することができます。

保健師免許を取得する予定で、養護教諭二種免許も申請しようとする場合は、下記の必要科目の単位を修得してください。養護教諭二種免許取得申請に必要な科目は、次表のとおりです。

教職免許法施行規則 第66条の6に定める科目		本学の授業科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
日本国憲法	2単位	法と人権	2単位
体育	2単位	スポーツ科学と運動	1単位
		スポーツ理論	1単位
外国語コミュニケーション	2単位	英語Ⅰ（基礎）	1単位
		英語Ⅱ（会話）	1単位
情報機器の操作	2単位	情報処理	1単位
		情報リテラシー	1単位

●免許状申請について

卒業後、保健師免許を取得したうえで、養護教諭二種免許の申請をする場合は、本学で「学力に関する証明書」（上記科目単位の取得を証明するもの）の発行を受けてください。1通500円になります。

北海道で申請する場合は、北海道教育委員会に確認し、各自で申請してください。

必要書類等は、北海道教育委員会のホームページで確認できます。

Ⅱ-4 教育目標とディプロマ・ポリシー

2022 年度以降入学生

看護学科

本学の教育目標	学科の教育目標	学科ディプロマ・ポリシー
1. 人間力を涵養し、社会の一員としての社会的態度と行動をとることができる人材を育成する。	1. 自己の良心と社会規範に従い、自己を統制し、責任ある行動のできる看護専門職者を育成する。	DP1-1 社会の一員として社会規範を守り、自己統制力および責任ある行動力を身につけている。
	2. 目的に適った情報の収集と論理的な思考・判断を行い、適切に表現できる看護専門職者を育成する。	DP1-2 情報収集力・論理的思考力・多様な表現力を総合的に身につけている。
2. 生命への畏敬の念を抱き、人間の尊厳と多様な価値観を尊重できる人材を育成する。	生命への畏敬の念を抱き、人間の尊厳を守り、人々の多様な価値観を尊重できる看護専門職者を育成する。	DP2 生命への畏敬の念を抱き、人間の尊厳を守り、人々の多様な価値観を尊重できる能力を身につけている。
3. 人間と環境と健康の相互作用を理解し、健康を社会的視点から捉えることができる人材を育成する。	人間・環境・健康を体系的に理解し、人間の生活と環境・健康の関係について社会的視点から多角的に捉えることのできる看護専門職者を育成する。	DP3 人間・環境・健康に関する知識を活用し、人間の生活と環境・健康に関わる社会的な諸課題を多角的に捉える能力を身につけている。
4. 保健医療の専門職として求められる知識・技術・態度等を有し、実践力のある人材を育成する。	看護の対象となる個人・家族・集団・地域社会の健康課題を多角的にその人らしい健康生活を送るための支援を考え、実践できる看護専門職者を育成する。	DP4 地域に暮らす生活者を全人的に理解し、看護の対象となる個人・家族・集団・地域社会の健康課題を明らかにし、その解決を図るために必要な実践力の基礎を身につけている。
5. 社会生活や保健医療福祉で関わる人々との連携および協働できる人材を育成する。	社会と保健医療福祉分野での看護職の役割と責務を認識し、多職種および関係者と連携・協働できる看護専門職者を育成する。	DP5 保健医療福祉を担う看護職の役割と責務に基づき、対象者の QOL の向上に向けて多職種および関係者と連携・協働できる能力の基礎を身につけている。
6. 保健医療福祉の諸課題への探求心を持ち、将来にわたり学修し、成長し続ける人材を育成する。	保健医療福祉の動向を捉え、看護の専門性を探求し、将来にわたり能力向上のために自己研鑽し続ける看護専門職者を育成する。	DP6 保健医療福祉および看護の発展を志向し、看護職としての専門的能力を継続的に向上させるために必要な能力を身につけている。

II-5 教育課程表 (2022年度以降入学生)

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数		開講年次・時間数								卒業認定に必要な科目		養護教諭二種免許希望者	卒業必要単位数
			必修	選択	1年		2年		3年		4年		看護師のみ	保健師希望者		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基礎教育科目	学びの理解	講義	1	15									●	●	●	【基礎教育科目】 必修科目15単位 選択科目9単位以上 計24単位以上修得
	生物学	講義		1	15											
	化学	講義		1	15											
	論理的思考	講義	2	30									●	●	●	
	情報処理	演習	1	30									●	●	●	
	統計分析法	演習	1		30								●	●	●	
	情報リテラシー	演習	1		30								●	●	●	
	英語 I (基礎)	演習	1	30									●	●	●	
	英語 II (会話)	演習	1		30								●	●	●	
	英語 III (読解)	演習		1		30										
	英語 IV (総合)	演習		1			30									
	表現技法 I (読解・分析)	演習	1	30									●	●	●	
	表現技法 II (討議・発表)	演習	1		30								●	●	●	
	心理学	講義	2	30									●	●	●	
	倫理学	講義	1	15									●	●	●	
	現代社会論	講義	2	30									●	●	●	
	生態学	講義		1	15											
	生活環境論	講義	2		30											
	教育学	講義	1				15									
	文学と人間	講義	1				15									
	スポーツ科学と運動	演習	1	30											●	
	スポーツ理論	講義	1	15											●	
	法と人権	講義	2	30											●	
	地域社会文化論	講義	2	30												
	国際社会論	講義	1				15									
	社会貢献と活動	演習	1		30											
小計 (26科目)			15	17												
専門基礎科目	形態機能学 I	講義	2	30									●	●	●	【専門基礎科目】 必修科目24単位 選択科目3単位以上 計27単位以上修得
	形態機能学 II	講義	2		30								●	●	●	
	感染免疫学	講義	2		30								●	●	●	
	病理学	講義	2		30								●	●	●	
	薬理学	講義	2			30							●	●	●	
	栄養代謝学	講義	2		30								●	●	●	
	臨床栄養学	講義		1				15					●	●	●	
	生涯発達論	講義	1	15									●	●	●	
	臨床心理学	講義	1			15							●	●	●	
	疾病治療論 I	講義	2			30							●	●	●	
	疾病治療論 II	講義	2				30						●	●	●	
	環境保健論	講義	1		15								●	●	●	
	社会福祉論	講義	2				30						●	●	●	
	疫学	講義		2					30				●	●	●	
	関係法規	講義	1		15								●	●	●	
	保健医療福祉行政論	講義		1				15					●	●	●	
	健康政策論 I ※	演習	1							30			●	●	●	
	健康政策論 II ※	講義		1							15		●	●	●	
	保健統計学 I	講義	1						15				●	●	●	
	保健統計学 II ※	講義		1							15		●	●	●	
	生命倫理	講義	1			15							●	●	●	
	特別総合科目	演習		1	30											
小計 (22科目)			24	8												

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

基礎教育科目では24単位以上（必修科目15単位および選択科目9単位以上）、専門基礎科目27単位以上（必修科目24単位および選択科目3単位以上）、専門科目78単位以上（必修73単位、選択必修科目「クリティカル看護論」「慢性看護論」「リハビリテーション看護論II」から1単位、選択科目4単位以上）を履修し、合計129単位以上を修得していること。
保健師国家試験受験資格希望者は、卒業要件（129単位）の他に、保健師国家試験受験資格取得希望者のみ選択可の全ての授業科目（※）および「疫学」「保健医療福祉行政論」「公衆衛生看護学概論」を修得し、合計148単位以上を修得していること。（履修科目の登録の上限：45単位（年間））

・専門科目の単位数に△がついた科目は、いずれか1科目を必ず修得すること。2科目以上選択した場合は、2科目めから選択科目に振り替えることができる。

・授業科目の名称に※のついている科目は、保健師国家試験受験資格取得希望者のみ選択可。

・養護教諭二種免許取得申請希望者は、保健師国家試験の受験に必要な科目のほかに養護教諭免許取得申請に必要な科目となる「法と人権」「スポーツ科学と運動」「スポーツ理論」の単位を必ず修得していること。

(卒業までに必要な授業科目と単位数の一覧)

●看護師・保健師国家試験受験資格および養護教諭二種免許希望者必修科目

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数		開講年次・時間数								卒業認定に必要な科目		養護教諭二種免許希望者	卒業必要単位数	
			必修	選択	1年		2年		3年		4年		看護師のみ	保健師希望者			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
看護の基本	看護学概論	講義	2		30								●	●	●		
	看護技術総論	演習	1		30								●	●	●		
	援助関係論	演習	1		30								●	●	●		
	看護技術論 I	演習	2			60							●	●	●		
	看護技術論 II	演習	2				60						●	●	●		
	看護技術論 III	演習	1					30					●	●	●		
	健康教育論	講義	1					15					●	●	●		
	家族看護学	講義	1					15					●	●	●		
	看護倫理	講義	1					15					●	●	●		
	看護理論	講義	1					15					●	●	●		
	看護基礎実習 I	実習	1		45								●	●	●		
	看護基礎実習 II	実習	2				90						●	●	●		
	地域看護学概論	講義	1			15							●	●	●		
	地域看護実習	実習	2					90					●	●	●		
	人間の発達段階と看護活動	成人看護学概論	講義	1			15							●	●	●	
		成人看護活動論 I	講義	2				30						●	●	●	
		成人看護活動論 II	演習	1					30					●	●	●	
		成人看護活動論 III	演習	1						30				●	●	●	
		外来看護実習	実習	1							45			●	●	●	
		成人看護実習 I	実習	2								90		●	●	●	
		成人看護実習 II	実習	2								90		●	●	●	
		高齢者看護学概論 I	講義	1			15							●	●	●	
		高齢者看護学概論 II	講義	1				15						●	●	●	
		高齢者看護活動論 I	演習	1					30					●	●	●	
		高齢者看護活動論 II	演習	1						30				●	●	●	
		高齢者看護実習	実習	3								135		●	●	●	
		小児看護学概論	講義	2					30					●	●	●	
		小児看護活動論 I	演習	1						30				●	●	●	
		小児看護活動論 II	演習	1							30			●	●	●	
小児看護実習		実習	2								90		●	●	●		
母性看護学概論		講義	2				30						●	●	●		
母性看護活動論 I		演習	1					30					●	●	●		
母性看護活動論 II		演習	1						30				●	●	●		
母性看護実習 I		実習	1							45			●	●	●		
母性看護実習 II		実習	1							45			●	●	●		
精神看護学概論	講義	2				30						●	●	●			
精神看護活動論 I	演習	1					30					●	●	●			
精神看護活動論 II	講義	1						15				●	●	●			
精神看護実習	実習	2							90			●	●	●			
看護の統合と探求	在宅看護学概論	講義	1					15					●	●	●		
	在宅看護論 I	講義	1						15				●	●	●		
	在宅看護論 II	演習	1							30			●	●	●		
	在宅看護実習	実習	2								90		●	●	●		
	医療安全論	講義	1					15					●	●	●		
	災害看護論	講義		1							15						
	看護学研究法	講義	2							30			●	●	●		
	看護課題研究	演習	2								60		●	●	●		
	クリティカル看護論	講義		△1								15	▲	▲	▲		
	慢性看護論	講義		△1								15	▲	▲	▲		
	リハビリテーション看護論 I	講義	1				15						●	●	●		
	リハビリテーション看護論 II	講義		△1								15	▲	▲	▲		
	スポーツと看護	講義	1					15									
	国際看護論	講義	1								15						
	看護管理論	講義	1							15			●	●	●		
	看護教育論	講義	1								15						
	看護総合実習	実習	2								90		●	●	●		
	実践総合演習	演習	1									30	●	●	●		
	栄養サポートチーム論	講義	1									15					
	地域連携ケア論 I	講義	1			15							●	●	●		
	地域連携ケア論 II	講義	1				15						●	●	●		
地域連携ケア論 III	講義	1					15					●	●	●			
地域連携ケア論 IV	講義	1								15		●	●	●			
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	講義	1				15						●	●	●		
	公衆衛生看護支援論 I ※	講義	2							30			●	●	●		
	公衆衛生看護支援論 II ※	演習	2								60		●	●	●		
	公衆衛生看護対象論 I ※	講義	2								30		●	●	●		
	公衆衛生看護対象論 II ※	講義	1							15			●	●	●		
	公衆衛生看護展開論 ※	講義	2								30		●	●	●		
	公衆衛生看護管理論 ※	講義	2								30		●	●	●		
	公衆衛生看護実習 I ※	実習	2									90	●	●	●		
	公衆衛生看護実習 II ※	実習	2									90	●	●	●		
公衆衛生看護実習 III ※	実習	1									45	●	●	●			
小計 (72科目)		73	25														
合計 (120科目)		112	50										148単位以上			合計129単位以上	

【専門科目】
必修科目73単位
選択必修科目
「クリティカル看護論」
「慢性看護論」
「リハビリテーション看護論 II」
から1単位、
ならびに
選択科目4単位以上
計78単位以上修得

※保健師国家試験
受験資格取得
希望者のみ選択可

Ⅱ-6 教育課程と学科ディプロマ・ポリシーの関連表

科目区分	授業科目の名称	学科ディプロマ・ポリシー							
		◎：強く関連するディプロマ・ポリシー、○：関連するディプロマ・ポリシー							
		DP1-1	DP1-2	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
基礎 教育 科目	学びの理解	◎	○	○	○		○	○	
	生物学			◎	○				
	化学			◎	○				
	学習と思考力		◎						
	論理的思考		◎						
	情報処理		◎						
	統計分析法		◎						
	情報リテラシー	○	◎						
	言語と表現力	○	◎	○					
	英語Ⅰ（基礎）	○	◎	○					
	英語Ⅱ（会話）	○	◎	○					
	英語Ⅲ（読解）		◎						
	英語Ⅳ（総合）		◎						
	表現技法Ⅰ（読解・分析）	○	◎						
	表現技法Ⅱ（討議・発表）	○	◎						
	人間と社会	心理学	○	○	◎	○			
	倫理学	◎	○		○				
	現代社会論	○	○	◎	○				
	生態学		○	○	◎				
	生活環境論	○	○	◎					
	教育学	◎	○	○					
	文学と人間	○	○	◎					
	スポーツ科学と運動	◎	○		○				
	スポーツ理論		○		◎				
	法と人権	◎	○	○	○				
	地域社会文化論		○	◎	○				
	国際社会論	○	○	◎	○				
	社会貢献と活動	◎	○	○					
	小計（26科目）								
	専門 基礎 科目	形態機能学Ⅰ			○	◎			
		形態機能学Ⅱ			○	◎			
		感染免疫学			○	◎			
病態学				○	◎				
薬理学				○	◎				
栄養代謝学				○	◎				
臨床栄養学				○	◎				
生涯発達論				◎	○				
臨床心理学			○	◎	○				
疾病治療論Ⅰ				○	◎				
疾病治療論Ⅱ				○	◎				
社会と健康		環境保健論			○	◎			
社会福祉論				○	◎				
疫学			○		○	◎		○	
関係法規					○		◎		
保健医療福祉行政論					○	○	◎	○	
健康政策論Ⅰ※									
健康政策論Ⅱ※									
保健統計学Ⅰ			○		◎	○		○	
保健統計学Ⅱ※									
生命倫理				◎	○				
特別総合科目		◎	○	○	○		○		
小計（22科目）									

科目区分	授業科目の名称	学科ディプロマ・ポリシー							
		◎：強く関連するディプロマ・ポリシー、○：関連するディプロマ・ポリシー							
		DP1-1	DP1-2	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
専 門 科 目	看護の基 本	看護学概論			○	○	◎	○	
		看護技術総論			○	○	◎		
		援助関係論			○	○	◎		
		看護技術論Ⅰ			○	○	◎		
		看護技術論Ⅱ			○	○	◎		
		看護技術論Ⅲ			○	○	◎		
		健康教育論			○	◎	○		
		家族看護学			○	○	◎		
		看護倫理			○	○	◎		
		看護理論			○	○	◎		
		看護基礎実習Ⅰ	○	○	○	○	◎	○	
		看護基礎実習Ⅱ	○	○	○	○	◎	○	
	地域看護学概論	○	○	○	○	◎	○		
	地域看護実習	○	○	○	○	◎	○		
	人間の発 達段階 と看護活 動	成人看護学概論	○	○	○	○	◎	○	
		成人看護活動論Ⅰ	○	○	○	○	◎		
		成人看護活動論Ⅱ	○	○	○	○	◎		
		成人看護活動論Ⅲ	○	○	○	○	◎		
		外来看護実習	○	○	○	○	◎	○	
		成人看護実習Ⅰ	○	○	○	○	◎	○	
		成人看護実習Ⅱ	○	○	○	○	◎	○	
		高齢者看護学概論Ⅰ	○	○	○	○	◎		
		高齢者看護学概論Ⅱ	○	○	○	○	◎	○	
		高齢者看護活動論Ⅰ	○	○	○	○	◎	○	
		高齢者看護活動論Ⅱ	○	○	○	○	◎	○	
		高齢者看護実習	○	○	○	○	◎	○	
		小児看護学概論	○	○	○	○	◎	○	
		小児看護活動論Ⅰ	○	○	○	○	◎	○	
		小児看護活動論Ⅱ	○	○	○	○	◎		
		小児看護実習	○	○	○	○	◎	○	
		母性看護学概論	○	○	○	○	◎		
		母性看護活動論Ⅰ	○	○	○	○	◎		
		母性看護活動論Ⅱ	○	○	○	○	◎		
		母性看護実習Ⅰ	○	○	○	○	◎	○	
	母性看護実習Ⅱ	○	○	○	○	◎	○		
	看護の統 合と 探求	精神看護学概論	○	○	○	○	◎		
		精神看護活動論Ⅰ	○	○	○	○	◎	○	
		精神看護活動論Ⅱ	○	○	○	○	◎		
		精神看護実習	○	○	○	○	◎	○	
		在宅看護学概論	○	○	○	○	◎	○	
		在宅看護論Ⅰ	○	○	○	○	◎	○	
		在宅看護論Ⅱ	○	○	○	○	◎		
		在宅看護実習	○	○	○	○	◎	○	○
		医療安全論				◎	○		
		災害看護論						○	◎
	公衆衛生 看護学	看護学研究法	○	○	○	○			◎
		看護課題研究	○	○	○	○			◎
		クリティカル看護論						○	◎
		慢性看護論						○	◎
		リハビリテーション看護論Ⅰ					◎	○	
		リハビリテーション看護論Ⅱ						○	◎
		スポーツと看護						○	◎
		国際看護論			○				◎
		看護管理論					○	○	◎
		看護教育論							◎
	看護総合実習	○	○	○	○	○	○	◎	
	実践総合演習					○		◎	
	栄養サポートチーム論	○	○	○	○	○	◎		
	地域連携ケア論Ⅰ	○	○	○	○	○	◎		
	地域連携ケア論Ⅱ	○	○	○	○	○	◎		
	地域連携ケア論Ⅲ	○	○	○	○	○	◎		
	地域連携ケア論Ⅳ	○	○	○	○	○	◎		
	公衆衛生看護学概論			○	◎		○		
	公衆衛生看護支援論Ⅰ※								
	公衆衛生看護支援論Ⅱ※								
	公衆衛生看護対象論Ⅰ※								
	公衆衛生看護対象論Ⅱ※								
	公衆衛生看護展開論※								
	公衆衛生看護管理論※								
	公衆衛生看護実習Ⅰ※								
	公衆衛生看護実習Ⅱ※								
	公衆衛生看護実習Ⅲ※								
小計 (72科目)									
合計 (120科目)									

Ⅱ－7 科目配置表

2022年度以降入学生 看護学科

区分	1年次				2年次				
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	
基礎教育科目	学習と思考力	学びの理解	1	統計分析法	1				
		生物学	(1)	情報リテラシー	1				
		化学	(1)						
		論理的思考	2						
	情報処理	1							
言語と表現力	英語Ⅰ（基礎）	1	英語Ⅱ（会話）	1	英語Ⅲ（読解）	(1)	英語Ⅳ（総合）	(1)	
	表現技法Ⅰ（読解・分析）	1	表現技法Ⅱ（討議・発表）	1					
人間と社会	心理学	2	スポーツ理論*	(1)	生活環境論	(2)	教育学	(1)	
	倫理学	1	法と人権*	(2)	社会貢献と活動	(1)	文学と人間	(1)	
	現代社会論	2	地域社会文化論	(2)			国際社会論	(1)	
	生態学	(1)							
	スポーツ科学と運動*	(1)							
基礎教育科目 小計 (内選択科目計)	12科目 (選択4科目)	15 (4)	7科目 (選択3科目)	9 (5)	3科目 (選択3科目)	4 (4)	4科目 (選択4科目)	4 (4)	
専門基礎科目	個人と健康	形態機能学Ⅰ	2	形態機能学Ⅱ	2	薬理学	2	疾病治療論Ⅱ	2
		生涯発達論	1	感染免疫学	2	臨床心理学	1	疾病治療論Ⅰ	2
	社会と健康	特別総合科目【通年】		特別総合科目【通年】	(1)	生命倫理	1	社会福祉論	2
			環境保健論	1					
			関係法規	1					
専門基礎科目 小計 (内選択科目計)	3科目 (選択0科目)	3 (0)	7科目 (選択1科目)	11 (1)	4科目 (選択0科目)	6 (0)	2科目 (選択0科目)	4 (0)	
専門科目	看護の基本	看護学概論	2	看護技術論Ⅰ	2	看護技術論Ⅱ	2	看護技術論Ⅲ	1
		看護技術総論	1	地域看護学概論	1			健康教育論	1
		援助関係論	1					家族看護学	1
		看護基礎実習Ⅰ	1					看護倫理	1
							看護理論	1	
						看護基礎実習Ⅱ	2		
						地域看護実習	2		
人間の発達段階と看護活動			成人看護学概論	1	成人看護活動論Ⅰ	2	成人看護活動論Ⅱ	1	
			高齢者看護学概論Ⅰ	1	高齢者看護学概論Ⅱ	1	高齢者看護活動論Ⅰ	1	
					母性看護学概論	2	小児看護学概論	2	
						母性看護活動論Ⅰ	1		
						精神看護学概論	2		
看護の統合と探究			地域連携ケア論Ⅰ	1	リハビリテーション看護論Ⅰ	1	スポーツと看護	(1)	
					地域連携ケア論Ⅱ	1			
公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	(1)	
専門科目 小計 (内選択科目計)	4科目	5	5科目	6	6科目	9	14科目 (選択2科目)	18 (2)	
合計 (内選択科目計)	19科目 (選択4科目)	23 (4)	19科目 (選択4科目)	26 (6)	13科目 (選択3科目)	19 (4)	20科目 (選択6科目)	26 (6)	

1. 単位の欄の数字は単位数で、単位の（数字）は選択科目の単位数である。
2. 科目名の最後に【通年】が記載されている科目は通年科目であり、単位数は当該年次の後期に単位数を記載している。
3. 科目名の最後に（※）が記載されている科目は、公衆衛生看護学履修生のみが選択できる科目である。
4. 科目名の最後に△が記載されている「クリティカル看護論」、「慢性看護論」、「リハビリテーション看護論Ⅱ」は選択科目である。
2科目以上選択した場合は、2科目めから選択科目に振り替えることができる。
5. 科目名の最後に＊が記載されている「法と人権」「スポーツ科学と運動」「スポーツ理論」は養護教諭二種免許取得に必要な科目である。
ほかに保健師国家試験受験に必要な科目も修得しなければならない。

科目配置表 2022年度以降入学生

区分	3年次				4年次				単位計 (内選択計)	
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位		
基礎教育科目	学習と思考力								8 (2)	
	言語と表現力								6 (2)	
	人間と社会								18 (13)	
基礎教育科目 小計 (内選択科目計)									32 (17)	
専門基礎科目	個人と健康	臨床栄養学	(1)						19 (1)	
	社会と健康	疫学	(2)	保健統計学Ⅰ	1	健康政策論Ⅰ (※)	(1)	健康政策論Ⅱ (※)	(1)	13
		保健医療福祉行政論	(1)				保健統計学Ⅱ (※)	(1)		(7)
専門基礎科目 小計 (内選択科目計)		3科目 (選択3科目)	4 (4)	1科目	1	2科目 (選択2科目)	2 (2)	1科目 (選択1科目)	1 (1)	32 (8)
専門科目	看護の基本								19	
	人間の発達段階と看護活動	成人看護活動論Ⅲ	1	成人看護実習Ⅰ	2	小児看護実習	2			35
		外来看護実習	1	成人看護実習Ⅱ	2	母性看護実習Ⅱ	1			
		高齢者看護活動論Ⅱ	1	高齢者看護実習	3	精神看護実習	2			
小児看護活動論Ⅰ		1	小児看護活動論Ⅱ	1						
母性看護活動論Ⅱ		1	母性看護実習Ⅰ	1						
精神看護活動論Ⅰ		1	精神看護活動論Ⅱ	1						
看護の統合と探究	在宅看護学概論	1	在宅看護論Ⅰ	1	在宅看護実習	2			27 (8)	
	医療安全論	1	在宅看護論Ⅱ	1	災害看護論	(1)				
	地域連携ケア論Ⅲ	1	看護学研究法 看護管理論	2 1	看護課題研究【通年】 クリティカル看護論 △ 慢性看護論 △ リハビリテーション看護論Ⅱ △ 国際看護論 看護教育論 看護総合実習	2 (1) (1) (1) (1) (1) 2	看護課題研究【通年】 実践総合演習 栄養サポートチーム論 地域連携ケア論Ⅳ	2 1 (1) 1		
公衆衛生看護学			公衆衛生看護支援論Ⅰ (※)	(2)	公衆衛生看護支援論Ⅱ (※)	(2)	公衆衛生看護実習Ⅰ (※)	選 (2)	17 (17)	
			公衆衛生看護対象論Ⅰ (※)	(2)			公衆衛生看護実習Ⅱ (※)	選 (2)		
			公衆衛生看護対象論Ⅱ (※)	(1)			公衆衛生看護実習Ⅲ (※)	選 (1)		
			公衆衛生看護展開論 (※)	(2)						
			公衆衛生看護管理論 (※)	(2)						
専門科目 小計 (内選択科目計)		9科目	9	15科目 (選択5科目)	24 (9)	13科目 (選択7科目)	17 (8)	7科目 (選択4科目)	10 (6)	98 (25)
合計 (内選択科目計)		12科目 (選択3科目)	13 (4)	16科目 (選択5科目)	25 (9)	15科目 (選択9科目)	19 (10)	8科目 (選択5科目)	11 (7)	162 (50)

Ⅱ-8 オフィスアワー

教員が特定の曜日・時間を定め、学生からの授業や学生生活全般に関する質問、相談に応じるシステムです。

面接を希望する学生は、各教員の実施方法を確認のうえ、面談希望教員と連絡を取り面談日を調整してください。

未決定の教員は、決定後、掲示にてお知らせします。

時間帯 (①②方式)

- ① 1週間のうち、一定期間を教員の個々のスケジュールにより決定しています。
- ② 特に時間を設定していません。

面談方式 (ab方式)

- a オープン方式：学生は自由に教員を訪問することができます。
- b アポイント方式：学生が各教員とアポイントを取ったうえで訪問することができます。
(メールアドレスを参考にしてください。)

看護学科

分野	職位	氏名	曜日	時間帯	面談方式	メールアドレス	研究室
基礎看護学 分野	教授 (学長)	オホナタ テルミ 大日向 輝美	月～金	②	b	oohinata.t@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	4101
基礎教育 分野	教授	スエミツ アツオ 末光 厚夫	月～金	②	b	sue@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1314
	教授	マツオ フミコ 松尾 文子	月～金	②	b	fmatsuo@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1221
専門基礎 教育分野	教授	イエコ マサヒロ 家子 正裕	火 以外	②	b	masa2023@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1211
基礎看護学 分野	准教授	シユドウ エリカ 首藤 英里香	月～金	②	b	eshudo@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1217
	講師	ソノダ リコ 園田 典子	月～金	②	b	sonoda@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1214
	講師	モトヨシ アケミ 本吉 明美	月～金	②	a	a-motoyoshi@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1215
	助教	ヨコヤマ ケイコ 横山 桂子	月～金	②	a	yokoyama@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1325
成人看護学 分野	教授	フジイ ミヅエ 藤井 瑞恵	月～金	②	b	fujii@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1315
	准教授	オノ ヨシキ 小野 善昭	月～金	②	b	ono-y@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1321
	講師	イトウ マチカ 伊藤 円	月～金	②	a	m-ito@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1323
	講師	カト タクト 加藤 剛寿	月～金	②	b	kato-t@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1322
	助教	イケノ コウヘイ 池野 航平	月～金	②	a	ikeno@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1325
	助教	イマイズミ リエ 今泉 里絵	月～金	②	a	imaizumi@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1325
高齢者 看護学分野	教授	ハツリ ユカリ 服部 ユカリ	月～金	②	b	luna@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1212
	准教授	カキタ マイ 中田 真依	月～金	②	a	mainakata@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1319
	助教	ナカタケ ナツノ 中武 延	月～金	②	a	nakatake@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	1325

オフィスアワー

看護学科

分野	職位	氏名	曜日	時間帯	面談方式	メールアドレス	研究室
母性看護学 分野	教授	サイノウ 早香枝 齋藤 早香枝	月～金	②	a	sasai@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1218
	准教授	サワダ エミ 澤田 優美	月～金	②	b	sawada@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1213
	教授	ノザキ ユキ 野崎 由希子	月～金	②	a	nozaki@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1325
小児看護学 分野	教授	カワサキ カズコ 河崎 和子	月	16:00～ 17:30	b	kawasaki@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1313
	助教	ササキ めぐみ 佐々木 めぐみ	月～金	②	a	sasaki@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1325
精神看護学 分野	准教授	ハラダ ユカ 原田 由香	月～金	②	b	harada@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1312
	助教	タカハシ マサキ 高橋 正樹	月～金	②	b	masaki-ta@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1325
総合看護学 分野	教授	キヅ ユミ 木津 由美子	月	12:40～ 13:30	a	kizu@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1316
	講師	ヨシダ ユキ 吉田 祐子	月～金	②	b	yuko-y@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1317
地域看護学 分野	教授	コンドウ アキヨ 近藤 明代	月～金	②	a	kondoh@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1220
	准教授	アンドウ ユカ 安藤 陽子	月～金	②	a	ando@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1219
	准教授	タケザワ チロ 武澤 千尋	月～金	②	b	c-takezawa@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1311
	講師	オガワ カツコ 小川 克子	月～金	②	a	k.ogawa@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1222
	講師	カワガuchi ケイジ 川口 桂嗣	水	12:40～ 13:30	a	k-kawaguchi@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1320
	講師	サクナミ アキヨ 作並 亜紀子	月～金	②	a	sakunami@sapporo-hokeniryou-u. ac. jp	1216

オフィスアワー

栄養学科

分野	職位	氏名	曜日	時間帯	面談方式	メールアドレス	研究室
社会・環境と健康	教授	ハマオカ ナホロ 濱岡 直裕	月～木	②	b	hamaoka@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5308
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	教授	チバ ヒシ 千葉 仁志	月～金	②	b	chiba-h@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5302
	准教授	キンタカ ムリ 金高 有里	月～金	②	b	kintaka@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5307
	講師	ツクイ タカキ 津久井 隆行	月～金	②	b	tsukui@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5103
食べ物と健康	教授	イタガキ ヤスル 板垣 康治	月～金	②	b	itagaki@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5301
	教授	サカモト メグミ 坂本 恵	月～金	②	b	sakamoto@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5105
基礎栄養学	准教授	マツカワ リコ 松川 典子	月～金	②	a	matsukawa@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5310
応用栄養学	講師	イワベ マイ 岩部 万衣子	月～金	②	a	iwabe@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5102
栄養教育論	教授	モモセ 百々瀬 いづみ	月～金	②	a	momose@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5311
臨床栄養学	教授	オカモト トモ 岡本 智子	月～金	②	b	okamoto@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5306
	講師	ウジケ シ 氏家 志乃	月～金	②	a	ujike@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5305
公衆栄養学	准教授	ツチモト コジ 槌本 浩司	月～金	②	b	tsutimoto@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5106
給食経営管理論	教授	ヤマベ シュウコ 山部 秀子	月～金	②	a	yamabe@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5107
	講師	ワタナベ 渡辺 いつみ	月～金	②	a	watanabe@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5104
教職課程	教授	アンネ ヤスマサ 安念 保昌	月～金	②	b	dpforest@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5304
	教授	カト タカ 加藤 隆	月～金	②	a	katotaka@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5312
	助教	アビコ ヒロミ 安彦 裕実	月～金	②	a	abiko@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5101
	助教	ムラオ ト 村尾 咲音	月～金	②	a	murao@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5101
	助教	ヨネタ ミ 米田 実央	月～金	②	a	yoneta@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5101
	助手	ヒダ マミ 樋田 真弓	月～金	②	a	hida@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5101
	助手	オサベ タロ 長部 泰子	月～金	②	a	osabe@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5101